

■ 〈建築学テキスト〉 建築構造力学Ⅰ 正誤表 (2004.9)

下のような誤植がございました。お詫びして、訂正させていただきます。

該当ページ	誤	正
p.39, 図3・33 (a)	三角形の分布荷重で、矢先だけがずれている	
p.43, 図3・43の左側	$w = 4\text{kN/m} \times 4\text{m}$	$W = 4\text{kN/m} \times 4\text{m}$
p.50, 図3・56の荷重条件、下から3つ目	w	w
p.88～91においてに、モーメントと図で示している x, y の正方向の定義に従うと、符号が違っているところがあります。		
p.88, 図5・7の上側	ω (オメガ)	w (ダブルユ)
p.88, 図5・9の下側	$M = P(l - x)$	$M = -P(l - x)$
p.88, 19～20行目	となる。これを変形した, $\frac{d^2y}{dx^2} = -\frac{Mx}{EI}$	となる。上端引張りのモーメントが負であることを考慮し、これを変形した, $\frac{d^2y}{dx^2} = +\frac{Mx}{EI}$
p.88, 26行目	$\theta = \frac{dy}{dx} = -\int \frac{M}{EI} dx + C_1 \dots\dots (5.18)$	$\theta = \frac{dy}{dx} = +\int \frac{M}{EI} dx + C_1 \dots\dots (5.18)$
p.88, 27行目	$y = -\int \left(\int \frac{M}{EI} dx \right) dx + C_1x + C_2 \dots\dots (5.19)$	$y = +\int \left(\int \frac{M}{EI} dx \right) dx + C_1x + C_2 \dots\dots (5.19)$
p.88, 下から2行目	$Mx = P(l - x)$	$Mx = -P(l - x)$
p.89, 1行目	$\frac{d^2y}{dx^2} = -\frac{Mx}{EI} = -\frac{P}{EI}(l - x)$	$\frac{d^2y}{dx^2} = +\frac{Mx}{EI} = -\frac{P}{EI}(l - x)$
p.89, 7行目	$\theta = \frac{dy}{dx} = -\frac{P}{EI} \left(lx - \frac{x^2}{2} \right)$	$\theta = \frac{dy}{dx} = +\frac{P}{EI} \left(lx - \frac{x^2}{2} \right)$
p.89, 11行目	$\theta = -\frac{Pl^2}{2EI}$	$\theta = +\frac{Pl^2}{2EI}$
p.89, 13行目	となる。符合の定義が異なるが、(5.12) 式と…	となる。(5.12) 式と…
p.90, 2行目	$\frac{d^2y}{dx^2} = \frac{d\theta}{dx} = -\frac{M}{EI} \dots\dots (5.21)$	$\frac{d^2y}{dx^2} = \frac{d\theta}{dx} = +\frac{M}{EI} \dots\dots (5.21)$
p.90, 3行目	M/EI	$-M/EI$
p.90, 6行目	M/EI	$-M/EI$
p.91, 3行目	$y = M = \frac{Pl^2}{2EI} \times \frac{2l}{3} = \frac{pl^3}{3EI}$	$y = M = \frac{Pl^2}{2EI} \times \frac{-2l}{3} = \frac{-pl^3}{3EI}$

正誤表追加 (2005.7) 下のように訂正を追加させていただきます。申し訳ございませんでした。お詫びして、訂正させていただきます。

p.32, 図3・14(2)の(f)	A - B 間の変形	A - C 間の変形
p.38, 13行目	$x_1=2$	$x_2=2$
p.38, 14行目	$x_1=5$	$x_2=5$